

公益財団法人新潟市開発公社
令和3年度第1回評議員会議事録（抄本）

1 開催日時

令和3年6月9日(水) 9時56分から10時32分まで

2 開催場所

白山会館 1階羽衣の間（新潟市中央区一番堀通町1-1）

3 評議員現在数及び定足数

現在数 8人、定足数 4人

4 出席評議員数 7人

(出席) 石川 昇 評議員、大倉 正弘 評議員、荻荘 誠 評議員、
坂上 昭 評議員、鈴木 厚 評議員、中野 繁子 評議員、
南澤 和雄 評議員

(欠席) 武藤 正明 評議員

5 出席理事及び監事

(理事) 熊倉 淳一 理事長(代表理事)、阿部 眞也 専務理事(代表理事)、
大勝 孝雄 常務理事(業務執行理事)

(監事) 渡辺 東一 監事

6 その他の出席者

(事務局) 福田 悟 事務局長、広川 俊司 スポーツ・レクリエーション課長、
樋口 恭子 緑化・施設整備課長、桜井 一賀 産業勤労推進課長、
村井 卓 総務課長補佐、丸山 勉 総務課総務企画係長、
椎野 由希子 総務課総務企画係副主査

7 決議事項

議案第1号「令和2年度事業報告及び決算の承認について」

議案第2号「理事の選任について」

8 議事の経過の要領及びその結果

(1) 出席者の確認及び議長の選出

村井総務課長補佐が新任評議員、理事、監事、事務局の紹介を行い、配布議案の確認をした。その後、定款並びに評議員会運営規程に基づき大倉評議員が互選により議長に選出され、議長が開会宣言を行った。

(2) 決議の確認及び議事録署名人の選出

議長が、評議員会運営規程に基づき事務局へ出席状況の報告を求め、村井総務課長補佐が定款並びに評議員会運営規程に規定する評議員の過半数の出席を満たしており、本評議員会は有効に成立している旨の説明があった。

議事録署名人は定款並びに評議員会運営規程に基づき大倉議長並びに議長の指名により鈴木評議員及び南澤評議員とし、議案の確認の後、審議に移った。

(3) 議案第 1 号 令和 2 年度事業報告及び決算の承認について

議長が上記議案について、理事からの説明を提言した。これを受け、熊倉理事長は評議員会運営規程に基づき議長の許可を得て、一部を事務局から説明をさせることとし、熊倉理事長、阿部専務理事、大勝常務理事、福田事務局長が説明を行った。

最初に事業報告書に沿って、熊倉理事長より新型コロナウイルス感染症による事業に対する影響等について概要の報告、阿部専務理事・大勝常務理事より公益・収益事業の別で主な事業内容や利用者等の増減理由など、事業の報告を行った。その後、福田事務局長より財務諸表に沿って、計数に関することや財務要件についての説明を行った。

続いて熊倉理事長から、監事による監査を令和 3 年 5 月 12 日に受けた旨の報告があり、渡辺監事から業務執行は適正に行われていること、財政状態及び会計決算については財務諸表に適正に表示されていたと監査報告があった。

説明後、本議案に関して、次のとおり質疑応答があった。

(坂上評議員) 次年度以降において、正味財産増減計算書内訳書の科目に番号を振るなど、見やすくなるような工夫について検討して欲しい。また、決算数値でスポーツ教室事業収益が前年度より大幅に減少しているが、内訳書の公 1 体育施設では黒字となっている。一般的に参加者が減少し収入が減ると赤字になることが多いがどういった理由か。

(村井課長補佐) 内訳書の公 1 体育施設の項目は指定管理事業と自主事業から成り立っている。その中で、自主事業だけを見るとご指摘のとおり赤字であるが、指定管理事業において経費が抑えられたため全体では黒字となった。

質疑応答を経て、審議の結果、本議案は出席評議員満場一致で原案どおり承認された。

(4) 議案第 2 号 理事の選任について

議長が上記議案について、評議員会運営規定に基づき事務局からの説明を提言し、これを受け、福田事務局長から理事 8 名全員の任期満了に伴い、以下のとおり 7 名を再任候補者とし、新たに 1 名を新任候補者とする旨の提案について説明がなされた。

(再任)

熊倉 淳一 氏、阿部 眞也 氏、大勝 孝雄 氏、笠原 良子 氏、木津 茂 氏、
篠田 和男 氏、長浜 裕子 氏

(新任)

能登谷 巖 氏

※任期は、令和 3 年 6 月 9 日から令和 4 年度に関する定時評議員会の終結の時までとする。

その後、候補者ごとに審議を行い、各候補とも出席評議員満場一致で原案どおり可決された。

なお、任期満了による退任者は以下のとおり。

(退任)

早福 弘 氏

以上をもって、全ての議案の審議を終了したので、議長は10時32分閉会を宣言した。

なお、閉会后、福田事務局長より公社主催のスポーツ教室参加者に新型コロナウイルス感染が確認された件について報告が行われた。その後、全般にかかる件について次のとおり質疑応答があった。

(坂上評議員) 体育施設の利用人数について、平成28年度から少しずつ減っているが、理由は何か。また、公共施設の大規模改修工事について、経費はどこが負担するのか。

(広川スポーツ・レジャー課長) 利用人数の減少について、いくつかの施設では工事に伴う休館の影響によるものであるが、それ以外でも利用者の減少傾向が見受けられるところがある。コロナ渦において出来ることは限られてくるが、感染対策を講じながら利用促進を図っていきたいと考えている。また、大規模改修工事の経費に関しては、設置者である新潟市の負担となり、改修の要望や不具合箇所については、市へ報告する体制をとっている。

上記の議事の経過の要領及びその結果並びに報告事項が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員2人は記名押印する。

令和3年6月9日

公益財団法人新潟市開発公社

評議員会議長

大 倉 正 弘

評 議 員

南 澤 和 雄

評 議 員

鈴 木 厚
